

---

◎議案第15号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（稲葉昭宏君） 日程第2、議案第15号 平成26年度松崎町温泉事業会計補正予算（第2号）についての件を議題といたします。

議案の朗読は省略して、提出者から提案理由の説明を求めます。

○町長（齋藤文彦君） 議案第15号は、平成26年度松崎町温泉事業会計補正予算（第2号）についてです。

詳細は担当課長をして説明します。

（生活環境課長 高橋良延君 提案理由説明）

○議長（稲葉昭宏君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。

質疑を許します。

○5番（高柳孝博君） 12ページの1款1項11節、動力費が、使用量が減って動力費が減っている。これは消費税なのか、それともなんか動力の方の関係で何かあったのか、その分析はどのような感じなんでしょうか。先ほどインバータ化されるということなので、動力というのは結構費用の中ではきいてくると思うんですけど、かつて電力会社が料金の値上げとかなんかをやったこともあったと思うんですが、そのあたりで本当に電力会社の選択というのも各自治体がやり始めてきて、場合によっては会社の契約を変えてまでして下げたいと・・・、動力としてもそんなに大きなお金ではないと思うんですけど、そこらへんが消費税なのか、値上げなのかわかりましたら教えてください。

○生活環境課長（高橋良延君） 動力費のご質問でございます。やはり温泉事業会計を非常に圧迫している費用でございます。この要因ですけれども、温泉の動力費、ポンプのかかるものなんですけれども、それについては、温泉については、例えばいま444口加入があります。その加入に対して、ポンプをある程度は絞っているんですけども、一定の量で送るようなポンプ制御、今のポンプの能力の形ですから、ある程度費用は少なくなったから、加入が少なくなったから、動力費も下がるということではありません。そこは非常に私どもも悩ましいところでありまして、やはりここは値上げのところ大きな影響を受けているという形でございます。

ですから、今回インバータ化して、やはりその、使っていないときにはある程度・・・、使用量の少ないときは下げるような形とか、その融通をきかせて動力費を下げていきたいと

いうことで考えています。

あと1点、電力の自由化、電力会社の選択ということでございますけれども、これは電力の自由化という世間の情報が流れておりますけれども、実際具体的に私どもの方にそういった話と申しますか、私どもも情報収集を積極的にはしていませんけれども、そういう話も特にきておりません。ただ、そういうことは、ぼくらの方では伺っていますので、電力会社の選択とか、それはまた調べて検討していきたいなと思います。

○議長（稲葉昭宏君） ほかに質疑はありませんか。

○7番（関 唯彦君） 7ページ、ちょっと忘れちゃったもので、今ちょっと聞くんですけれども、7ページの他会計の貸付、これはどこどこでしたっけか。水道と、それから宿舎でしたか。宿舎が1億3500万円・・・。

（生活環境課長「1億5000万円です」と呼ぶ）

○7番（関 唯彦君） わかりました。

○議長（稲葉昭宏君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（稲葉昭宏君） 質疑がないようでありますので、質疑を終結したいと思います、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（稲葉昭宏君） 異議なしと認めます。

よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（稲葉昭宏君） 反対討論なしと認めます。

次に、本案に対する賛成討論の発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（稲葉昭宏君） 賛成討論なしと認めます。

これをもって討論を終了します。

これより議案第15号 平成26年度松崎町温泉事業会計補正予算（第2号）についての件を挙手により採決します。

本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

(挙手全員)

○議長（稲葉昭宏君） 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

暫時休憩します。

(午前 9時27分)

---